平成 28 年度事業 事後評価・決算 事務事業マネジメントシート

	事務事業名	大東町地域福祉セ	ンター管理事業	所属部	大東総合センター	所属課 市民福祉課
総		〈Ⅲ〉支えあい健やか	に暮らせるまち≪保健・医療・福祉≫	所属G	福祉G	課長名 藤原 陽子
수 함	施策名 	〈25〉地域福祉の充実	意 <mark>意 地域で支えあう意識を高め、福祉活動を実</mark>	担当者名	宮川 容子	電話番号 0854-43-8162 (内線) 4001
建	的 象 ^{川氏} 基本事業名	〈075〉支え合う地域つ	図 <mark>る。</mark> ぶくり	予算科目	会計:款 大事業 大 0:1:1:5:0:1:業	
茅	目対 市民 的象		意 地域で支え合う体制をつくる。		項 目 中事業 中	事 大東町地域福祉センター管理 名 事業

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間 単年度のみ

☑ 単年度繰返

(16年度~)

□ 期間限定複数年度

(年度~年度)

② 事業内容

(期間限定複数年度事業は全体像を記述)

- ・指定管理による管理・運営、貸館業務を実施。
- ・指定管理期間は平成27年度から平成29年 度。
- 指定管理者は雲南市社会福祉協議会。

(2)事務事業の手段・指標

① 主な活動

手段

- 28年度実績(28年度に行った主な活動)
- ・指定管理団体への施設管理に関する監督・ 指導及び指定管理料の支払い。
- ・計画的な施設設備の更新及び修繕。
- | 29年度計画(29年度に計画する主な活動) ・・指定管理団体への施設管理に関する監督・指導及び指定管理料の支払い。
 - ・計画的な施設設備の更新及び修繕。
 - 指定管理更新業務。

	②活動指標	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)
ア	監督指導回数	回	4	4	4	4
1						
ゥ						
エ						

(3)事務事業の目的・指標

(0	/ 尹仂尹木のロリ 111宗							
	① 対象(誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)
	①施設利用者(貸館、デイサービス等)	ア	デイサービス利用者	人	7,519	7,295	7,400	7,450
	②大東町地域福祉センター	イ	貸館利用者数	人	1,754	2,226	2,254	2,300
目		ウ						
的	2) 意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)
	①安心安全に利用出来る	ア	苦情処理件数	件	0	0	0	0
	②適正に維持管理する	イ	施設利用による事故発生件数	件	0	0	0	0
		ウ						

(4)事務事業のコスト

(4) 争伤争未のコヘト								
① 事業費の内訳 (28年度決算)		2	コストの推移	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)
指定管理料; 10,668千円		п	国庫支出金	千円				
	+	事源为	県支出金	千円				
	争		地方債	千円				
	費	訳	その他	千円	6,260	6,357	6,298	6,256
	桑	ш	一般財源	千円	12,320	6,784	4,370	4,412
			事業費計(A)	千円	18,580	13,141	10,668	10,668
	人		正規職員従事人数	人	1	1	1	
	件		延べ業務時間	時間	24	24	24	
	費		人件費計(B)	千円	93	94	95	
		トー	·タルコスト(A)+(B)	千円	18,673	13,235	10,763	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)

② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革

改善をしているか?)

③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して 市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や 要望が寄せられているか?)

毎年4~5件程度の修繕を行っている。建設 から19年経過し耐用年数の問題もあるため、 今後は計画的に更新工事や補修工事等を 行っていく必要がある。 ・指定管理者から施設内の修繕要望があ り計画的に行っている。

・空調設備は耐用年数が経過しており、計画的に更新工事を行っている。

・平成18年度から指定管理を行っている。

指定管理者から築後19年経過し施設内の修繕要望がある。

雲南市(H27年2月改正版)ver.1.3

所属部 大東総合センター

所属課 市民福祉課

2	事後評価	(SEE)
---	------	-------

_	事後	СПТ ІШ						
	1 1	女策体	系との整合性	この事務事業の	目的は市の	の政策体系に結びつくかつ	? 意図することが結びついているか?	見直し余地があるとする理由
Α		見直	直し余地があ.	る 🔽 🕯	おびつし	いている	* 余地がある場合	
目	21	以共関	与の妥当性	なぜこの事業を市	が行わた	sければならないのか?	 ・税金を投入して達成する目的か?	1
的妥当性		見直	し余地があ	ნ ⊽ ₹	そ当であ	5る	* 余地がある場合■	ş
当	③ * x	対象・意	意図の妥当性	対象を限定・追加	11する必	要はないか?意図を限	定・拡充する必要はないか?	1
性	<u> </u>		し余地がある		切です		* 余地がある場合	
		出の	白 L 仝 - 山 - 一	F=+	ルルナフ	1.0 det de 1.4.1.3		
ŀ	<u>4</u> ル		<u>円工ホ吧 ヵ</u> ニ余地がある	以来を <u>向上させる</u> 宗	地はめる		をの現在より良いやり方ははないか? 管理しており、安心安全に利用	・何が原因で成果向上が期待できないのか? できている
	Ī		- 永地がない		理由	心はと思立し		
					埋田			
ŀ	⑤ Ø	蒸止 ∙ 右	ト止の成果へ	の影響 - の事	※車業た		影響の有無とその内容は?	
		· 影響		のお音。この事	伤争未で			一ビス)、障がい者共同作業所、大東
B 右	Ī	影響			理由			施設の廃止・休止した場合は福祉活動
有効					在田	等に影響を与え	さる 。	
业	<u>(6)</u> ±	百似事	業との統廃会	・連携の可能性	上 日的達	成にけ この事務事業に	外の手段(類似事業)けないか? ある場合	、その類似事業との統廃合・連携ができるか?
			ニ手段がある	* ある場合 ■	(具体的	内な手段	7707 12 (规格事業/18/30 77 . 000 10 10	、(の規模事業との制造日産活が、このが、
			₩ 統廃合・	連携ができる		(事業名)		
			□ 統廃合・	連携ができない		高齢者・障がい	者が利用する地域福祉の拠点	原施設である。
		a 441.	ニ手段がない		理由			
	Į		- 士权がない					
	⑦ 事	事業費	の削減余地	成果を下げずに事	業費を開	削減できないか?(仕様	や工法の適正化、住民の協力など)	
	~		成余地がある					は指定管理者として雲南市社会福祉協
		削洞	域余地がない		理由			は(株)キラキラ雲南が業務委託として
C 効								EL 今かけ以手眼(1)運見主於タラのおし
率	⑧ 人						後は、大東図書館の改修・充写 テい事業費の削減を図る。	にこれに四首品の住日末初で日の旧
性		(件費	(延べ業務時	間)の削減余地	, 成果	定管理業務で	テい事業費の削減を図る。	正職員以外や外部委託ができないか?
	_	削洞	域余地がある		, 成果	定管理業務で復 を下げずにやり方のエ	テい事業費の削減を図る。	
		削洞			, 成果 理由	定管理業務で復 を下げずにやり方のエ	テい事業費の削減を図る。 夫で延べ業務時間を削減できないか?	
		削洞	域余地がある			定管理業務で復 を下げずにやり方のエ	テい事業費の削減を図る。 夫で延べ業務時間を削減できないか?	
D		削源 削源	域余地がある 域余地がない		理由	定管理業務で行を下げずにやり方のエ を下げずにやり方のエ 必要最小限の	テい事業費の削減を図る。 夫で延べ業務時間を削減できないか?	正職員以外や外部委託ができないか?
יוט	9 受	削減 削減 受益機 見面	成余地がある 成余地がない 会・費用負担 回し余地があ	<u>の適正化余地</u> る	理由	定管理業務で行を下げずにやり方のエ必要最小限の語	テい事業費の削減を図る。 夫で延べ業務時間を削減できないか? 業務時間である。	正職員以外や外部委託ができないか?
公公平	9 受	削減 削減 受益機 見面	成余地がある 成余地がない 会・費用負担	<u>の適正化余地</u> る	理由	定管理業務で行を下げずにやり方のエ必要最小限の語	テい事業費の削減を図る。 夫で延べ業務時間を削減できないか? 業務時間である。 編っていて不公平ではないか? 受益	正職員以外や外部委託ができないか?
יוט	9 受	削減 削減 受益機 見面	成余地がある 成余地がない 会・費用負担 回し余地があ	<u>の適正化余地</u> る	理由事業内	定管理業務で行を下げずにやり方のエ必要最小限の語	テい事業費の削減を図る。 夫で延べ業務時間を削減できないか? 業務時間である。 編っていて不公平ではないか? 受益	正職員以外や外部委託ができないか?
ひ公平性	9 5	削減 利減 受益機 見或 公公	或余地がある 或余地がない 会・費用負担 直し余地がある ☑・公正である	<u>の適正化余地</u> る	理由事業内	定管理業務で行を下げずにやり方のエ必要最小限の語	テい事業費の削減を図る。 夫で延べ業務時間を削減できないか? 業務時間である。 編っていて不公平ではないか? 受益 でる施設であり公平公正である。	正職員以外や外部委託ができないか?
公平性	9 爱 「 「 1 1	削減 利減 受益機 可公 次評価	成余地がある 成余地がない 会・費用負担 回し余地があって、公正である	の適正化余地 る 5 平価結果	事業体理由	定管理業務で行をです。 を下げずにやり方のエ 必要最小限の 必要最小限の は容が一部の受益者に 誰でも利用でき	テい事業費の削減を図る。 夫で延べ業務時間を削減できないか? 業務時間である。 編っていて不公平ではないか? 受益	正職員以外や外部委託ができないか?
ひ公平性	③ ₹✓✓✓A	削減	域余地がある 域余地がない 会・費用負担 直し余地がある ・公正である 一者としての記 妥当性	の適正化余地 る 。 平価結果 ☑ 適切	理由 事業内理由 見見	定管理業務で行をではいます。 必要最小限の できる できる できる おいま できる おいま できる はいま できる はいま にんしん はいま かいま かいま かいま かいま できる はいま いいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま しま いいま かいま しん いいま かいま しん いいま しん かいま しん いいま しん いん いいま しん いん	テい事業費の削減を図る。 夫で延べ業務時間を削減できないか? 業務時間である。 編っていて不公平ではないか? 受益でる施設であり公平公正である。 ② 1次評価結果の総括(村 適正に管理できた。 今後も地域福祉の拠点施言	正職員以外や外部委託ができないか? 著負担が公平・公正か? 及拠と理由) ひとして必要な補修をしながら、地域福
ひ公平性 評価の	⑨ 曼□ 1AB	削減 登益見公 次評 所 的効	域余地がある 域余地がない 会・費用負担 直し余地があっている。 一番としての 一番としての 当性 性	の適正化余地 る う 平価結果 図 適切	理由 事業内 理由 見見 見見	定管理業務で行をサリカのエー 必要最小限の記述を下げずにやり方のエールの要量をはいます。 できる おいま できる おいま かいま かいま はいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま か	テい事業費の削減を図る。 夫で延べ業務時間を削減できないか? 業務時間である。 富っていて不公平ではないか? 受益でる施設であり公平公正である。 (2) 1次評価結果の総括(相 適正に管理できた。	正職員以外や外部委託ができないか? 著負担が公平・公正か? 及拠と理由) ひとして必要な補修をしながら、地域福
ひ公平性 評価の総	③ ₹I 1ABC	判消 一 一 一 一 一 次 三 一 大 三 一 大 三 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	域余地がある 域余地がない 会・費用負担 し余地がある である ・公正である ・公正である ・公性 性	の適正化余地 る 評価結果 図 適切 回 適切	理由 事業内 見見見	定管理業務で行をでいます。 必要最小限の かっぱい でも利用でき	テい事業費の削減を図る。 夫で延べ業務時間を削減できないか? 業務時間である。 編っていて不公平ではないか? 受益でる施設であり公平公正である。 ② 1次評価結果の総括(村 適正に管理できた。 今後も地域福祉の拠点施言	正職員以外や外部委託ができないか? 著負担が公平・公正か? 及拠と理由) ひとして必要な補修をしながら、地域福
ひ公平性 評価の	③ ₹I 1ABC	削減 登益見公 次評 所 的効	域余地がある 域余地がない 会・費用負担 し余地がある である ・公正である ・公正である ・公性 性	の適正化余地 る う 平価結果 図 適切	理由 事業内 見見見	定管理業務で行をサリカのエー 必要最小限の記述を下げずにやり方のエールの要量をはいます。 できる おいま できる おいま かいま かいま はいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま か	テい事業費の削減を図る。 夫で延べ業務時間を削減できないか? 業務時間である。 編っていて不公平ではないか? 受益でる施設であり公平公正である。 ② 1次評価結果の総括(村 適正に管理できた。 今後も地域福祉の拠点施言	正職員以外や外部委託ができないか? 著負担が公平・公正か? 及拠と理由) ひとして必要な補修をしながら、地域福
ひ公平性 評価の総	③ ₹I 1ABC	判消 一 一 一 一 一 次 三 一 大 三 一 大 三 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	域余地がある 域余地がない 会・費用負担 し余地がある である ・公正である ・公正である ・公性 性	の適正化余地 る 評価結果 図 適切 回 適切	理由 事業内 見見見	定管理業務で行をでいます。 必要最小限の かっぱい でも利用でき	テい事業費の削減を図る。 夫で延べ業務時間を削減できないか? 業務時間である。 編っていて不公平ではないか? 受益でる施設であり公平公正である。 ② 1次評価結果の総括(村 適正に管理できた。 今後も地域福祉の拠点施言	正職員以外や外部委託ができないか? 著負担が公平・公正か? 及拠と理由) ひとして必要な補修をしながら、地域福
ひ公平性 評価の総括 3	⑨ 受✓✓O D	判別 機配 次 目 有効 公 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	域余地がある 域余地がない 会・費用負担 こし余地である ・公正である ・出 としての います。 ・会性 性性 は ・性性 には には、「は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	の適正化余地 る を 不価結果 図 適適切切り 図 適切切り	理由事業内□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	定管理業務で行をでいます。 必要最小限の かっぱい でも利用でき	テい事業費の削減を図る。 夫で延べ業務時間を削減できないか? 業務時間である。 編っていて不公平ではないか? 受益さる施設であり公平公正である。 ② 1次評価結果の総括(相 適正に管理できた。 今後も地域福祉の拠点施語 社の維持向上を図る必要が	正職員以外や外部委託ができないか? 著負担が公平・公正か? 及拠と理由) ひとして必要な補修をしながら、地域福

<u>3</u> 今後の方向性【PLAN】	
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果
□廃止 □休止 ▼目的再設定 □事業統廃合・連携 □事業のやり方改善(有効性改善) ▼事業のやり方改善(効率性改善) □事業のやり方改善(公平性改善) □現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
大東図書館の改修にあたり、指定管理の方法を再検討する必要がある。	向上
	成 維 果持
	低 下 × ×
	廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向 上しない、もしくはコスト維持で成果低下で は改革・改善とはならない。